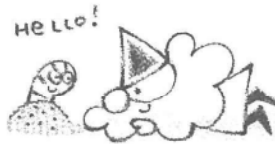


# トムトム通信



トムトムは

ハンディのある方とご家族のための  
会員制のサービスセンターです。

TEL/FAX (0467) 58-8335

発行人：上杉桂子

第 6 号 2001年3月発行

## “トムカー購入計画” 始動!!



現在トムトムではひと月に150件以上の利用がありますが、そのほとんどに送迎サービスが付随しています。今年度実績では、ひと月平均延べ1500kmを、トムトム送迎車は利用者に乗せて走っています。学校・通所施設・療育機関・病院と自宅の間や、トムトムから公園・図書館等へ出かける際に、送迎車は必要不可欠なのです。その上、トムトムは一人ひとりのニーズに即してサービスを行うためマンツーマン対応を基本としていますから、1件の利用=職員1人につき1台の送迎車が必要です。すでにトムトムでは車両を所有していますが、会員数の増加、特に車いすを利用される方の安全のため、ぜひとももう一台、車がほしいのです。行政からの援助が一切ないため、トムトムの運営はほぼ全てを会員からの利用料に頼っており、ご承知のとおり非常に厳しい状況です。

地域が障害のある方々にとってもっと暮らしやすくなるように、皆さまのお力を貸していただけませんか？ぜひとも、“トムカー購入計画”にカンパをお願い申し上げます。

3月12日現在のカンパ総額は、  
**¥180,000**  
です。目標まであと132万円!

**カンパ方法**◆一口3000円から。下記2つの方法のどちらかをお願いいたします。

- ① 郵便局への振込：郵便振替口座：**00250-3-67205**「トムトム車基金」へお振込み下さい。ちらし添付の振込用紙を使えば手数料はかかりません。
- ② 直接手渡し：お近くのトムトム運営委員またはトムトム職員へお渡し下さい。

**カンパ受付期間**◆2001年3月1日～4月30日

上田晴男氏講演会が開催されました！

## どうなる？ どうする？ 制度が変わる！！

21世紀の先陣をきるにふさわしい講演会が、2月2日茅ヶ崎市女性センターにてトムトム主催で行われました。

題して「今どきの福祉の話」。かる〜いタッチのタイトルとは裏腹に、内容はズッシリ重厚。

身近に迫った福祉の世界の大きな変化をしっかりと感じる事ができました。

講師にはおなじみ地域のオープンな法人「翔の会」より、「空と海」総合施設長をされている上田晴男さんにお越しいただきました。上田さんはこの4月に拠点を新しく西宮に移される予定です。

今回は「わかりやすく」の要望に応じて、福祉の現状、社会福祉基礎構造改革、それを實現する仕組みについて、それぞれ明快な語り口でお話し頂きました。こみいった制度の中身がちょっぴり



判ってきたぞと感じた方も多数いらしたのではないのでしょうか。それにしても制度そのものの前向きな方向は歓迎するにせよ、実際の仕組みがはたしてどう組み立てられるのが皆目分かっていない現実もあらためて実感しました。制度を充実させるために一番必要なお金も、今までの予算枠の中でだけ

で、一体どれだけ変えることができるのでしょうか。わかることはわかったけれど、なんとなく不安が募る、そんな刺激的(?)な講演だったと思います。

会場の皆さんからも色々ご意見・ご感想を寄せて頂きましたので、あわせてご紹介したいと思います。また、現在講演会録を作成中です。まとも次第お知らせする予定ですので楽しみに！



●福祉の話ということで期待してきたので福祉課では聞くことができない話が聞けたということと、紙に書いた言葉よりお話ということで、説得力やわかりやすさがありました。西宮市に行かれても頑張ってください。

すが大収穫だったという感じです。町の

●制度についてほとんど知らなかったのですが、わかりやすく具体的に説明して下さったので、少し理解できたと思います。(同様の意見が十数件ありました。)

●もと福祉施設職員の割には知らないことが多かったです。勉強不足ですね。平成15年度から新しい制度がスタートに

なります。利用者側、施設側、行政側と様々混乱していくかと思われます。今後日本の福祉はどうなっていくでしょうか。いつの時でも「人に優しい福祉」でありたいものです。子ども達への対応の仕方を日々反省しつつ(!?) 私自身福祉に参加し、これからも仕事ができたらなぁと思っています。

●今まで制度的なものを深く考えたことがなかったのでとても参考になる話でした。特に「自己決定」の話が印象的で、確かに“自分の意志をまわりに伝える”ことを一番全面に出すことは、その本人にとってもまわりで接している人にとっても、とても必要なことだと思うし、地域の中で生活し、自分を認めてもらうためには最良の方法だと思いました。あるがままの姿を見せられる環境って言うのは難しいけど欲しいものなのではないでしょうか? 今回の話を参考にしながら、それに関わる法律なども調べて、自分の中で整理しながら、さらに理解を深めていきたいです。

●福祉制度が変わっても法律が変わらない限り、基本的な考えはそのまま残ってしまう。日本が身辺自立を障害者に義務づけている限り「NO」といえる状況はいつまでたっても作られない。障害者が地域で生きるということは行政まかせでなく、如何にして障害者本人と親達がアンテナを張りめぐらせて、情報収集から運動へと結びつけていくかということにかかっている。障害者団体相互の連携も大切になっていくと思う。とても刺激になり、頑張ろうという気持ちが湧いてきました。

上田さんの西宮市でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。お元気で……!! (上杉)



## 常勤職員・柏原正矢さんが4月末で退職します。

春は、やはりお別れの季節でしょうか・・・このたび「余暇支援準備委員会」から、現在に至るまでトムトムを支えてくれた柏原さんが、一身上の都合により4月30日をもって退職することとなりました。「パーソナルサービス」という先進的なこの事業に向かって手探り状態だった私達を、絶えず励ましながら、沢山のアドバイスや献身的な働きをして下さいました。そ

して、トムトムがいよいよ形になりつつあった時、苦労を百も承知で、山本さんと二人、常勤職員に名乗りをあげてくれなければ、私達は現在のトムトムの姿を見ることはなかったでしょう。

カッシーの熱烈なファンである(特に小学生男児!!)利用者の皆さんは淋しくなることと思います。この間、薄給!人使いの荒さ!に耐え頑張ってくれ

た柏原さんに、皆さんと共に心より感謝し、新しい職場でのご活躍をお祈りしたいと思います。くれぐれもお体には気をつけて・・・(あまり飲み過ぎないようにね!)長い間ありがとうございました。

(5月以降、柏原さんの後任には男性常勤職員(元施設職員の方)が内定しています。)

運営委員・金



## トムトム会員のレポート！(第5回)

笹井百合子

息子の大輔は16歳です。

これまでずっと「地域に生きる」ということにこだわってきましたが、気がつけばいつの間にか背丈も超され、ご近所に「ちょっとお願い」という状態ではなくなっていました。

トムトムができた時、「障害を問わず、理由を問わず、365日いつでも」という趣旨に賛同して、すぐ入会させていただきました。と同時に「一人で頑張らなくていいんだ」と思うと、スーッと肩の荷が降りたような気がしました。

今まで「大輔がいるから」とあきらめていたことも、トムトムという強い味方のお陰でできるようになり、私の行動範囲もずいぶん広がりました。去年は父母の会の活動で忙しくなった上に、実家の父が入院したり、ヘルパーの資格を取得したりと、急に利用する機会が増えました。

利用する度に「ありがとうございました」と言われるのも新鮮ですし、「できる、できない」ではなく、子どもをありのままに受け止めて自然に接して下さるのも嬉しいことです。

大輔は家庭的な雰囲気が入っているのか、いつもいい顔をして帰ってきます。

スタッフの方々のご苦勞には頭が下がる思いがします。またトムトムを発足させたお母さん方の「頭で考えるよりまず行動する」という姿勢にも学ぶことが多いです。

これからもどんどん利用させていただいて、トムトムの生き残りに貢献(?)したいと思っています。でもスタッフの方々が大変かもしれませんね。



2月の  
イベント  
報告

みんな うまく 滑る ことが  
でき た ぞう かー??

とーっ ても  
にの しい わあ!!

ドリームランドで  
スケート!  
2月25日・5名参加

もっと  
いっほ しい  
まわり に いけ ず。

こあ...  
こあ...

・陽が出たり  
雪が降ったり  
不思議な天気  
にうにけど、色んな  
経験するっていいもの  
ですよ。(角田)





トムトムのお金の流れを把握することで運営全体が見え、現在どのくらいお金が残っていて、トムトムは安定しているのか、それとも危ないのか、いち早く分かってしまうのが、私のやっている経理です。(けっこうスリルものです…)

私は、障がい児の親でもあり、A利用会員として会員の皆さんと同じく、利用すればその分、利用料をお支払いしています。請求書が来て「うーん、やっぱり高いな」と思う時は親、「運営が厳しい、今の状態では利用料を値上げするのは致しかたがないか…」と思う時は運営委員になっていて、両方の気持ちが行き交います。運営委員10人のうち7人が障がい児の親で構成されていますから、私と同じくこの7人もその思いと格闘しているわけです。

年度末が近づき、トムトム設立後、まる1年間の収支が見えてきたなかで、先日、次年度の予算書を作成しました。私は思わずギョッとしました。どうやりくりしても約100万円の欠損。利用料を莫大な額に上げれば解消はされるけれど、高すぎるが為に利用できなくなれば、トムトムが立ち上がった意味がなくなります。今でさえ高すぎて利用できない人もいるのに、です。2001年度は、単年度の助成金が下りたので

かるうじてしのげますが、2002年度に助成金が下りない場合は・・・「トムトムがつぶれる!?!」

問題は山ほどあります。会員数、利用数は日増しに増え、現在のサービスを維持するために、

昨年より職員を1人増やし、拠点をさらにもう1カ所、車も1台増やしました。それでも職員の所得は、法定最低賃金すれすれです(本当はそれ以上働いているのに…)。どこも削れません。収入が支出に追いついていけないのです。ニーズがこれだけ増えてきている中で、この先はやはり行政に助けてもらうしか方法がありません。トムトムは家庭教師(値段が高く、贅沢と思われる!?)のように考えられてしまいがちです(以

前、行政の方にそう言われました)。しかしそうではなく、障がいをもつ本人とその家族の多くが、最低限の普通の暮らしを確保できない現状を打破するために、トムトムは生まれたのです。その家族にとって、当然あるべきシステムです。

トムトムのような事業は各地に増えつつあり、すでに市から助成金を受けているところもあります(茅ヶ崎市にレスパイト事業というものはありますが、15歳以上と年齢制限があり、育成会さんが茅ヶ崎市より委託を受けています)。しかし、現実には年齢枠や限られた事業内容がネックとなっています。このような年齢枠や事業内容の拡大、あるいはこれらに属する新たな事業展開を、

利用者または必要と思う人側から、行政に訴えかけていくということが、これからは必要だと思います。みなさん、トムトム存続のために、共に行動を起こしていきましょう!

聞いて! 会計の思い  
トムトムが危ない!

トムトム運営委員・会計担当 藤田 里恵

# 行った! 聞いた! 思った! アメニティーフォーラムinしが◆研修報告

角田沙弥  
の報告



2月16日 am7:00。眠い目をこすりながら、琵琶湖のある滋賀県へと向かいました。到着したところは、20年間生きてきた中で、泊まったことのないゴージャスなプリンスホテル!!!ホテル内のあまりの参加者の多さに、辺りをぐるぐると見回してしまいました。今思うと、ただのいなか者(茅ヶ崎生まれだから仕方ないか...)ですね(笑)。正直言って「こんなにも地域支援に携わっている人間がいるのか」と、驚きました。しかし私もその中の一人なのだと思うと、なぜだか強く感じました。

ポスターセッション(簡単に言うと自分たちの事業所をアピールする場所)へも、参加してきました。たくさんの事業所が立ち並ぶなか資料を並べていると、トムトムに興味を示してくれた方々が沢山いました。「どこにあるんですか?」と聞かれ、『サザンで有名な湘南茅ヶ崎です!』と、自信満々に答えると「いいところですねえ」ほとんどの方がこう返してきました。思わず『場所はいいけど福祉がね...』と言いたくなってしまいました。それはさておき、どんなことをしているのか、何をモットーにサービスを行っているのか、1年目の私に答えられるのか...そしてどう伝えればいいのか...。正直な話、とまどいました。しかし、そんなことは言っていられませんよね。この1年間何をしてきたのだ!!!と、自分に喝をいれ、自分なりに言葉にしてみました。一言発してしまえば、不思議と次から次へと出てくるものですね。何だか少し自分に自信がついたような気がした瞬間でした。

研修に参加したことにより、1年間スタッフとして過ごしてきた自分がどうであったのかを考えることができました。様々な問題点があった中、私はどこまで把握し理解していたのだろうか...。そこまで考える余裕がなかった、と言ってしまう言い訳になります。しかし申し訳ないことに、これが本音なのです。1からスタートした私はサービスを提供することに必死でした。この研修は私に「もっと頑張れ!」と背中を押してくれたのです。2年目を目前にした私は、たくさんの人々との出会いで大きく変われるのではないかと思います。不安や焦りはつきませんが、今言えることは「この仕事に誇りをもっている」ということです。みんながきらきら光ってられるために、トムトムがお手伝いできるよう日々向上を目指せたら、と感じる今日この頃です。

怒濤の2泊3日の研修を終え茅ヶ崎駅に降り立った私は、明るい展望抱いて意気揚々帰還!...という訳にはいかず、どちらかというと暗い気分でした。というのも全国的で客観的な状況と、トムトムで今起きている問題・職員が日々感じていることが、この研修でぴったり重なりあって「そういうことか」まではよかったのですが「それじゃ、どうしよう?」をずっとお土産にもらってしまったからです。(しかしこれぞ正しい研修というものです。)

トムトムを始める前、先達のどんな人々に聞いても「先のことはわからない」

山本奈央  
の報告





## トムトムからのお知らせ

### ★2001年度会員登録（更新）受付はじまります！

- **現会員のみなさま** ● 来年度更新書類をお送りします。更新希望の方は、(1) **3月31日(土)**までにお電話かFAXにて更新の意思をお伝え下さい。来年度の予約はその時点から承ります。(2) 必要書類を**4月10日(火)**までにご提出下さい。
- **新規登録を希望される方** ● トムトムまで住所等をお知らせ下さい。登録書類をお送りするとともに、登録面談日を設定させていただきます。

### ★「トムトムお勉強ライブラリー」小さくオープン！

トムトム内の本棚に、主に福祉に関する小さなお勉強本コーナーをつくりました。自閉症・てんかん・嚥下障害・自己決定などなどの本があります。おすすめはエコーキッズ体操クラブ発行の自閉に関する講演会録シリーズ。佐々木正美・笹一誠先生らが口語で語りかけてくれるので読みやすく、その上「目から鱗」ものです。ご希望の方にはどなたにも貸出いたします。また「こんな本がある！」という情報も、ぜひお聞かせ下さい。(山本)



### 賛助会員の皆様です (2000年12月21日～2001年3月18日現在)

ご支援ありがとうございます！

安藤博子 様・深澤啓一 様・村上佳子 様・野呂瀬生弥子 様・高橋ゆき子 様・近藤厚子 様  
千崎泰子 様・上田晴男 様・鈴木うめ子 様・小川喜道 様・草薙 喜美夫 様

### パーソナルサービスセンタートムトムの理念

障がいのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。

トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種類にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

### 「トムトム」へのお問い合わせは、お気軽に！

〒253-0071	神奈川県茅ヶ崎市萩園 1624-2
TEL/FAX	(0467) 58-8335
緊急用携帯電話	(0904) 625-5767
郵便局口座番号	10250-75536841 《名義：パーソナルサービスセンター「トムトム」》
ホームページ	<a href="http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8837/index.html">http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8837/index.html</a>
メールアドレス	tom_tom@gf6.so-net.ne.jp